

当社 NAOMI-CT ユーザー様から寄せられた
症例画像の一部をご紹介します

CTだから分かった

症例 画像 集

正直、
インプラントよりも
あの症例の診断で
助かりました!



埋伏歯や下顎管に関する症例が多くあつたでござる!

CT導入で診療の幅が広がつたようですね。



症例画像展 開催中!!



症例画像が
実際のCT画像で
見られる!

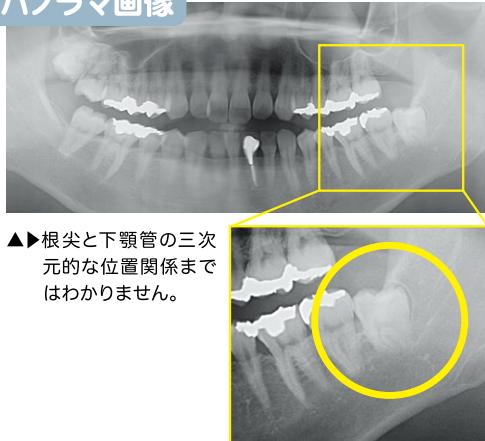
本冊子で紹介した症例を、NAOMI-CTソフトを操作しながら実際の
CT画像(3D)でご覧いただけます。店舗までお問い合わせください。

埋伏智歯における下顎管との位置関係

抜歯可能と判明も、薄い骨壁で慎重に

画像提供 北1条ポプラ歯科クリニック様（北海道）

パノラマ画像



左側下顎8番の抜歯に際しパノラマ撮影すると、根尖が下顎管と重なっていました。詳細な位置関係を確認するためCTも撮影しました。

その結果、下顎管との距離は頬舌的に余裕があり抜歯可能と判断しましたが、舌側の骨壁が薄く、ヘーベル等で押すような力をかけると舌側壁をやぶって舌下隙に歯牙が迷入してしまう危険性があることが判明。(これはパノラマでは分かりませんでした)

慎重に抜歯し、事なきを得ました。

CT画像 NAOMI-CTで見てみると…

VRモード



冠状面

CT画像



(一般的な人の骨壁)

CT画像



▲下顎管との位置関係にくわえ、骨壁の厚さもわかります。

▲一般的な人の骨壁と比較するととても薄く、慎重な治療の必要性がひと目で分かります。



位置はもちろん、骨壁の厚さまでわかつたから安全な治療ができたのでござる!

CT画像では思わぬことまで判明しますね!



下顎管との距離は一目瞭然！

パノラマ画像



▲パノラマ画像では下顎管に接している様ですが…

画像提供 上谷徹歯科様 (大阪府)

8番抜歯の際、パノラマ画像では左下8番の根尖が下顎管に接している様だったので、詳細に3次元的に調べる為にCTの撮影を行いました。結果、下顎管とは交通していなくて、管の上壁に根が接している状態が確認できたので、安心して抜歯しました。

根と下顎管の位置が3次元的に把握でき、口腔外科にて抜歯の可能性を患者さんに話していましたが、自院で安心して簡単に抜歯することができました。患者さんには手間が省けて喜んでいただきました。

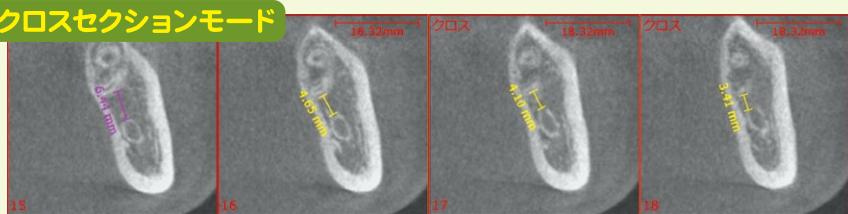
CT画像 NAOMI-CTで見てみると…



矢状面

▼さらに、クロスセクションモードで見てみると…

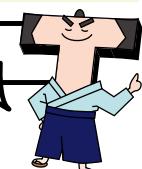
クロスセクションモード



▲距離がひと目で分かります

この通り、CTなら距離もバッチリ測定できるのでござる！

安心&手間の無い治療に患者さんもハッピーですね！



2次元レントゲンでは分かりにくい位置

小児の逆性埋伏過剰歯の抜歯も余裕をもってできました

デンタル



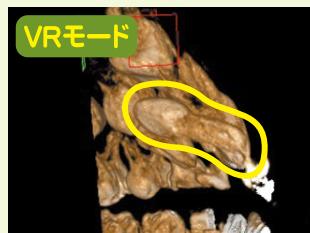
画像提供 ファミリー歯科医院様(千葉県)

8才男子。右上1番が萌出していましたが、左上1番は未萌出でした。埋伏過剰歯があるために左上1番が萌出できていないのでは?と、デンタルの撮影をしたところ、やはり埋伏過剰歯が確認できました。抜歯となると、立体的な位置関係が事前に分かっていた方がよいので、CT撮影が必要と判断。その結果、左上1番口蓋側に逆性埋伏の過剰歯が認められました。過剰歯は、左上1番の歯根に沿うように位置しており、完全に骨性であったため、骨を削らないと出てこないことが分かりました。デンタル画像では埋伏過剰歯の確認はできましたが、平面的にしか分からないので、実際にどこにあるかはCTで初めて分かりました。立体画像を用いることで、ご両親への説明も良く理解していただけました。抜歯時でも粘膜剥離だけでは歯牙は見当たらず骨の開削が必要ですが、CTによりドリルの入れる位置も自信を持って進めることができました。難症例でしたが精神的には余裕をもって抜歯できました。

CT画像 NAOMI-CTで見てみると…



▲正面からでは分かりにくくても…



難症例でも、正確な位置を把握していれば余裕を持った治療も可能でござる!

ご両親の理解も深まり、安心した治療になりますね!



位置関係と病巣の広がり

CTで判明!骨欠損は隣の歯!?

パノラマ画像



▲▶パノラマ画像でもデンタル(フィルム)画像でも分かりませんが…

デンタル



画像提供 瀬高歯科医院様(新潟県)

左上大臼歯部の痛みを2年くらい訴えていた患者さんです。前医で治らないため、当院に来られました。パノラマでもデンタルでも患歯は判別不能でした。

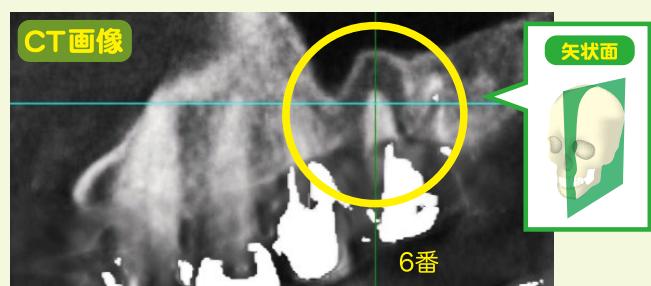
前医は左上7番の治療を行っていましたが、CTを撮ったところ左上6番MB根の根尖～歯根3分の2くらいの骨欠損があることがわかりました。左上6番MB根をヘミセクションすることで、患者さんが2年位苦しんでいた痛みは、当院への約1週間の通院で除去できました。

CT画像 NAOMI-CTで見てみると…

VRモード



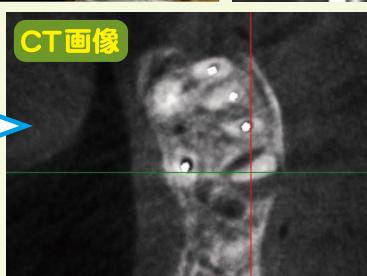
CT画像



横断面



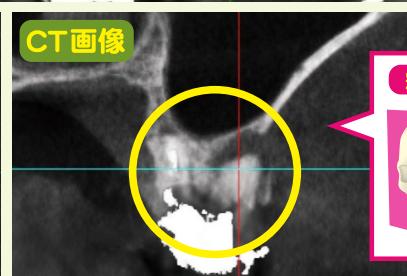
CT画像



矢状面



CT画像



冠状面

▲CTで断面を見ると骨吸収があるのが分かります

パノラマでは分からなかった患歯もCTなら一目瞭然でござるな!

まだまだ色々な症例画像をご紹介していきますよ~



その他にも寄せられたお声



患者さんからの「抜歯して欲しい」という依頼から、過剰歯ともとれる形成不全歯の萌出を撮影したところ、形成不全であることが判明。結果、抜歯適応ではないことを立体画像で患者に分かりやすく伝えることができました。

富山県Y歯科

左上2番の違和感で来院され、パノラマ画像では左上3番の欠損部の歯槽骨内に不透過像を発見。腫瘍の疑いがありました。CT撮影で左上3番が唇舌方向に水平埋伏していることが分かり、歯槽骨内の状況を患者さんに説明することで、安心されると共に感謝されました。

京都府N歯科



右下8番半埋伏歯について、正常歯列にある歯なので簡単に抜歯できると一瞬思ったのですが、根尖部に透過像がありました。NAOMI-CTで断面図を見るクロスセクション画面にし、改めて診ると根尖部2~3mmが頬側に直角に曲がっていました。しかも、下歯槽管が輪状に接觸していますが、一部輪がきれて癒着しているのではないかと思われる所もあります。通常のパノラマだけでは簡単に抜けそうに見えましたが、根っこが曲がって抜きにくい、また、多量出血したかもしれないと思うとゾッとします。

従来のパノラマは“オモチャ”です。正常歯列ではピントがあつてはっきり見えますが、異常な歯列ではわかりづらいことがあります。自分の見たいところにピントを合わせることができるので、より的確な診断ができると思います。

大阪府N歯科医院

CTの保険適応範囲が 広がりました

(中央社会保険医療協議会 平成24年改訂)



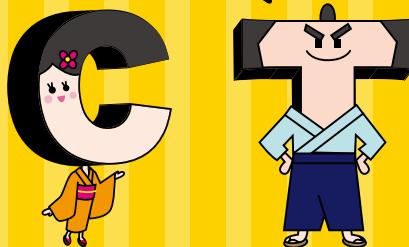
新設疾患

- ① 埋伏智歯(親知らず)における下顎管との位置関係確認のための撮影
- ② 顎関節症における顎関節形態の把握・確認・検査のための撮影
- ③ 顎裂等による顎骨の欠損形態把握・診断・検査のための撮影
- ④ 腫瘍等、病巣の広がりの診断・検査のための撮影
- ⑤ その他歯科用エックス線撮影または歯科用パノラマ断層撮影で確認できない位置関係や病巣の広がり等、確認する必要性が認められる場合

保険適応になったことで、患者さんの負担が軽減されます。またCT画像は患者さんにも分かりやすいため、治療に対する安心感や満足感を圧倒的に高めます。インターネット等で情報を探し、CT導入医院を選んで通院される患者さんが増えています。

※算定方法の詳細については、地域の厚生局事務所にお問い合わせください。

CTって
すごいござる!



CTだから分かった💡症例画像集

事業所・店舗・研究所
大型商業ビル・研修施設

旭川 | 札幌 | 盛岡 | 石巻 | 東北 | 大宮 | 東京 | 横浜 | 長野中央・東部・駅前Cone | 須坂 | 斑尾
松本 | 諏訪 | 新潟 | 金沢 | 浜松 | 名古屋 | 神戸 | 岡山 | 三次 | 四国 | 福岡 | 熊本 | 鹿児島

アールエフ 長野東部事業所 長野市南長池299-16 TEL 0120-911-006 FAX 0120-989-089

(電話受付) 月～土曜日 8:30～19:00 日曜・祝日 11:00～19:00 ※繋がらない場合は、長野東部事業所へ TEL:026-222-7710

事業内容

■産業分野:X線CT・工業用内視鏡・デジタルX線非破壊撮影装置 ■医科分野:X線CT・デジタルレントゲンNAOMI・各種医科カメラ等
■カプセル内視鏡・使い捨て内視鏡等 ■歯科分野:X線CT・パノラマ・セファロレントゲン・口腔内カメラ等 ■齧き歯事業(株式会社RF929)

HPはこちら



Jd_200213_R_R5_shoreisyu